

社会資本整備審議会道路分科会 第37回東北地方小委員会
【議事録（要点）】

1. 日 時

令和4年3月10日（木）14:00～16:00

2. 場 所

東北地方整備局 仙台合同庁舎B棟 13階 水災害予報センター

3. 出席委員

小野澤 章子	岩手大学 人文社会科学部 准教授
川崎 興太	福島大学 共生システム理工学類 教授
菊池 輝	東北工業大学 大学院工学研究科 教授
高樋 忍	(公社)青森環境コンベンション協会 理事
浜岡 秀勝	秋田大学 理工学部 システムデザイン工学科 教授
宮原 育子	宮城学院女子大学 現代ビジネス学科 教授
吉田 朗	東北芸術工科大学 基盤教育研究センター 教授

4. 議事内容

□審議結果

【一般国道4号（下北半島縦貫道路） 野辺地七戸道路】

- ・新規事業化については妥当である。

【一般国道4号 盛岡南道路】

- ・新規事業化については妥当である。

【一般国道7号 秋田南拡幅】

- ・新規事業化については妥当である。

【一般国道398号 石巻バイパス（沢田工区）】

- ・新規事業化については妥当である。

□主な意見

【一般国道4号（下北半島縦貫道路） 野辺地七戸道路】

- ・冬期の事故便益に関して、便益に含まれるのであればわかりやすく示すべき。
- ・当該箇所は、青森、八戸、下北を連絡する結節点であり非常に重要な事業。

【一般国道4号 盛岡南道路】

- ・信号交差点が多く混雑している区間であり、三次救急医療機関へのアクセス道路として非常に重要な事業。

- ・ 広域交通を担う路線であり、アクセスコントロールされた路線となるよう、土地利用計画と整合を図ること。
- ・ 現道は非常に混雑しており、新規バイパス事業は非常に重要。また、現道は中央分離帯もないことから、現道対策も引き続き検討すること。

【一般国道7号 秋田南拡幅】

- ・ 都市計画が決定されてから期間が空いているが、渋滞や事故の課題がある区間であり、計画的に進めるべき。
- ・ 当該事業は非常に重要であり、臨海十字路交差点に関して、整備後の交通状況にも留意すること。

【一般国道398号 石巻バイパス（沢田工区）】

- ・ 女川町では内陸部につながる唯一の幹線道路であり非常に重要な事業。
- ・ 権限代行事業については、事業の必要性や困難性がより伝わりやすいように、説明を工夫すること。